

海老川上流地区の都市計画変更に伴う説明会（令和5年2月10日、11日開催）

質問及び回答の要旨

○都市計画の手続きについて

	質問の要旨	回答の要旨
1	令和5年3月に予定されている縦覧時の変更案とは、どのような内容か。	「総括図」「計画図」「計画書」であり、用途地域の変更部分などを示したものです。この内容を分かりやすく表示したのが本日配布した資料となります。
2	縦覧期間が2週間では短いのではないか。	都市計画法により定められた期間です。なお、本日配布した変更案を記載した資料については市ホームページへ掲載し、市民の皆様が内容を確認することができるようにすることで、検討できる期間を延ばさせていただきます。
3	案の概要に対して、公述した意見は反映されるのか。	いただいた意見を受けて、都市計画案の変更が必要か検討します。どのようなまちにしたいかご意見をいただければ幸いです。

○道路について

	質問の要旨	回答の要旨
4	船橋駅北口の駅前広場は一般車両と公共交通が交錯し混雑しているが、新駅でも同じように混雑するのではないか。	乗降客数が1万人以上いる東葉高速線飯山満駅の駅前広場（約3,000平方メートル）では一般車両と公共交通の区分けをしていますが、渋滞するという状況は生まれておりません。今回設置を計画している新駅の乗降客数の見込みは約9,000人であり、駅前広場は約3,600平方メートルあることから、同程度の交通処理はできると考えています。
5	ラウンドアバウトの近傍事例はあるか。	千葉県内には6か所あることを把握しています。（令和4年3月現在）本市から近い場所では、みどり台駅（京成千葉線）西側や市川塩浜にあります。
6	市南部から医療センターに向かう際に使う国道357号、船橋我孫子線、夏見小室線いずれも渋滞している。開発は行うべきだが、道路整備がなかなか進んでいない。周辺道路の渋滞緩和に対する対策はどのように考えているのか。	周辺の交通について、朝夕の交通量が集中する時間は渋滞することが予想されていますが、できる限り解消するよう警察と協議を行っております。船橋我孫子線については、駿河台交差点から今回の土地区画整理事業区域まで片側2車線化について道路管理者である千葉県に要望しており、今後も要望を続けていきます。
7	県道船橋我孫子線の4車線の計画について県事業の見通しは怎么样了市として把握しているか。	県道船橋我孫子線は都市計画道路として40メートル幅で計画されています。この道路整備は県の事業のため詳細な内容は把握しておりませんが、用地取得等の課題もあるため、一般的には時間がかかるものと考えられます。

○治水対策について

	質問の要旨	回答の要旨
8	海老川調節池の完成予定は何年か。	海老川調節池は千葉県が策定している二級河川海老川水系河川整備計画で計画されており、当該計画対象期間は概ね30年とされています。
9	海老川調節池の促進について県に働きかけてほしい。	千葉県へは海老川調節池の早期整備に向けて毎年要望を行っております。なお、千葉県が現在試験施工を行っており、今後詳細の検討に入ると聞いております。
10	市としては海老川調節池の暫定掘削で問題ないという認識か。	海老川調節池の暫定掘削については、シミュレーションの条件に加えていますが、暫定掘削だけでなく、最終的な完成に向けて千葉県に引き続き要望していきます。
11	開発計画には反対していないが、治水については気になっている。海老川調節池について、千葉県が約35,000立方メートルの暫定掘削を行うとのことだが、容量不足ではないか。	浸水シミュレーションについては、千葉県より提示のあった、土地区画整理事業が概ね完了する頃までに実施が見込まれる海老川調節池の暫定掘削（面積約7ヘクタール、深さ約50センチメートル）及び海老川の河道掘削を入力設定とするとともに、土地区画整理事業地内で整備する調整池（約53,000立方メートル）を加味してシミュレーションを行った結果を示しています。その結果、下流域では概ね浸水深が減少するシミュレーション結果となっています。
12	海老川の河道掘削の区間は。	河口から長津川の合流点までです。
13	県で行う海老川調節池の暫定掘削について、県は来年度の予算を要求しているのか。	千葉県の来年度予算については把握しておりません。
14	千葉県が実施する海老川の河道掘削や調節池の暫定掘削の費用は完成するまで予算化しているのか。	行政の予算はまず単年度で行うという基本的な考え方があるため、完成するまでの予算化はされていないと思われます。しかし、千葉県には令和4年8月の浸水シミュレーションに関する説明会に同席しご質問等に対応いただいたことから、本事業について前向きに取り組んでいただいていると考えています。
15	飯山満川を時間雨量50ミリメートルの降雨に対応する河川に拡張すると、海老川と飯山満川の合流する場所で飯山満川の水量を海老川が受け止めきれず逆流するのではないか。	飯山満川の拡張も踏まえシミュレーションを行っております。その結果、飯山満川沿いでは高頻度の降雨（年超過確率1/10、時間雨量約50ミリメートルの降雨。いわゆる10年に1度の雨）では浸水深は概ね減少しておりますが、計画規模、想定最大規模の降雨では、県道船橋我孫子線よりも上流側の一部エリアで浸水深が増加する結果となっております。

### ○浸水シミュレーションについて

	質問の要旨	回答の要旨
16	浸水シミュレーションの入力条件に入っている海老川下流部の河道掘削と海老川調節池の暫定掘削はどの整備時点での想定なのか。	千葉県によると、調節池の暫定掘削と海老川下流部の河道掘削は、土地区画整理事業が概ね完了する頃までを見込んでいるとのこと。
17	浸水シミュレーションの中で浸水深が浅くなるとあるが、浸水はなくなるということではないか。	今回検討した3つの降雨パターンのうち、高頻度の降雨においては、概ね浸水深が減少するというシミュレーション結果となっております。他の2つの降雨パターン（想定最大規模の降雨、計画規模の降雨）においては、浸水はしますが、浸水深は下流域では概ね減少するという結果となっております。

### ○船橋市立医療センターについて

	質問の要旨	回答の要旨
18	医療センター街区は、最高高さが45メートルである。現医療センターよりも規模が大きくなるのか。	所管部局からは、病床数が増えると聞いています。
19	医療センターの移転位置、病院の敷地面積（建築概要）、階数、地下はあるか。	今の医療センター面積は3.3ヘクタール程度ですが、1.3倍程度の敷地面積になります。高さについては最大45メートルを想定していますが、地下を含めて何階建てかという点までは把握しておりません。位置については資料に示すとおりです。（資料12ページ：①医療地区）
20	現医療センターに隣接しているリハビリテーション病院は移転するか。	リハビリテーション病院が移転するとは聞いておりません。
21	現医療センター移転後の跡地利用は決まっているか。	跡地利用については把握しておりません。

### ○その他

	質問の要旨	回答の要旨
22	メディカルタウン実現方針について、地権者はどれほど認知しているのか。	勉強会等を通し、市と地権者が相互理解のもと策定しました。
23	海老川上流地区土地区画整理事業地内の土地について、生産緑地に指定していただけるか。	地権者に生産緑地指定の意向があれば指定を検討します。
24	土地区画整理事業地内に飯山満川を横断する水道管があるが、飯山満川を掘削できるのか。誰が掘削するのか。	水道管は千葉県企業局が入れ替え工事を行い、河川は千葉県（河川管理者）が掘削を行う予定です。
25	市場南側のJR社宅の民間開発は、海老川上流地区ほど丁寧な治水対策が行われるのか。	JR船橋市場町社宅跡地は現在開発に関する事前協議を行っております。大規模開発は市に届け出がありますので、その中で市も一時的に水を溜める調整池の設置を指導しております。
26	海老川の護岸工事がされているため、昔のように海老川からは溢れないが下水から溢れている。対策はどのように考えているのか。	そのような状況が起きていることについて、所管部局にご意見があった旨をお伝えします。